

## 126 東稜高校体育館

熊本県 建築設計—計画・環境建築

鉄筋コンクリート造+木造，地上2階建，1989年

平面が36m×60mの体育館で，柱までは鉄筋コンクリート造で，その上に木造屋根が載る。屋根は2個の梁を山型にし，接合はピンとしている。木造梁は上弦と束は杉材として，下弦

材は，鉄筋である。下弦材の鉄筋は平面的に斜めの方向とし，水平筋違いを兼ねている。

右上：施工中の屋根

右下：正面全景

左：アリーナ

撮影：荒井政夫

